

特定規模電気事業者向け電力卸供給事業への進出について

平成 15 年 8 月 25 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：磯野啓）は、新潟県三島郡越路町の天然ガス生産プラント（越路原プラント）敷地内に出力約 5 万 5 千 kW の火力発電設備を建設し、特定規模電気事業者である新日本製鐵株式会社に対する電力の卸供給を行うことを決定いたしました。

発電設備にはガスタービンコンバインドサイクル方式を採用し、平成 17 年 10 月に営業運転を開始する予定です。将来は、越路原プラント内に発電設備をもう一系列増設し、合計出力を約 11 万 kW に増強することを計画しており、事業の進展と市場環境の変化を見極めつつ、その時期を決定する方針です。

発電燃料として、当社保有の南長岡ガス田で生産される天然ガスと、その副産物であるガスコンデンセート（非常に軽質でナフサに近い性状を持つ、透明で硫黄分を含まないクリーンな原油）を組み合わせる計画です。ガス需要の季節変動に合わせて冬場はガスコンデンセート、夏場は天然ガスをそれぞれ主体とする燃料構成により生産設備の稼働率向上を図ることや、将来の電力・ガス両マーケットの環境変化によっては柔軟に燃料を切り替えることも可能であるなど、優れた特長を有すると考えております。

記

1. 事業の目的

本年 6 月に成立した改正電気事業法により、電力小売自由化の範囲が高圧需要家（契約電力 50kW 以上）にまで段階的に拡大することが予定される中、電力卸供給事業への進出により新たな収益源の確保が期待できるとともに、天然ガス生産と発電の有機的な組み合わせにより、事業環境の変化に対する柔軟な対応能力が強化され、企業経営の強靱性が大きく向上することを目的としています。

2. 発電設備の概要

発電方式	: ガスタービンコンバインドサイクル方式
発電出力	: 約 5 万 5 千 kW（将来は増設により約 11 万 kW）
燃料	: 天然ガス及びガスコンデンセート
設置場所	: 新潟県三島郡越路町大字朝日及び飯塚地内 帝国石油（株）長岡鉦場 越路原プラント敷地内

営業運転開始：平成17年10月予定

電力販売先：新日本製鐵株式会社

以上

発電事業(概念図)

